

Muronoi-code 咬合調節彎曲板

補綴時、咬合平面や調節彎曲の具体的な基準となるものがなかったため、咬合の設計が出来ず、全身症状がある多数歯欠損補綴や安定した総義歯・フルマウスリコンストラクション・インプラント補綴になど容易ではなかった。

模型のマウントは、頭蓋のX・Y軸に対して正確に何度でも付着できることが再現性につながり不安定要素を解決する手段になる。確実な模型マウントは、Z軸の運動が可能になり左右対称的なガイダンスの動的な誘導基準が得られる。

咬合は、顎運動することにより始まり適正な調節彎曲から生まれる咬頭干渉のない安定したガイダンスを歯牙歯列に与えることにより、的確な筋機能機構を構築できるため不定愁訴の改善や歯牙歯列の安定につながる。

咬合調節彎曲板を使用することにより、一つの基準の中で作成することが可能になった。

発明者：室野井 基夫;D.D.S,Ph.D

医療法人 室野井歯科クリニック

日本全身咬合学会 認定医、指導医

日本口腔インプラント学会 認定医

日本歯科東洋医学会 認定医

日本カイロプラクテック徒手医学会 監事

ICOI フェロー&デプロメート

きりとり

購入申し込み

	平成	年	月	日
氏名	(才)			
歯科医院名				
連絡先	〒			
電話	☎ fax			

お申し込み先 FAX 042(771)6770 MS デンタルリサーチ相模原支所